

## Topics

- # 1 小千谷みらい議会
- # 2 議会報告会および意見交換会

## Topics # 1

## 小千谷みらい議会を開催しました



11月9日、市内各中学校の代表生徒による「小千谷みらい議会」を開催致しました。議長役の生徒2名が交代で議事進行し、中学生ならではの視点で市政に関する多様な質問が飛び交う場となりました。

中学生の声を市政に反映できるように私たち市議会も活動を続けてまいります。

### ★さまざまな視点の質問がありました★

- ・地域活性化について
- ・学習、観光、スポーツ環境について
- ・除雪へのICTやアプリの導入について
- ・防災公園の活用について
- ・娯楽施設や交通について
- ・学校体育館の暑さ対策について
- ・人口増加について

# 令和6年新年挨拶



議長  
上村 行雄

あけましておめでとうございます。  
市民の皆さまには、希望に満ちた新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が5類となり、社会経済活動も通常に戻りつつありましたが、国際情勢の変化に伴う物価上昇や異常な猛暑により、農作物に甚大な被害が出ました。市議会といたしましても市民の代表である役割と責任の重さを意識しながら、市民の声を大切に提言・検証をしております。また本年9月には図書館等複合施設「ホントカ。」がオープン予定であり、当該施設が市民の拠点となることを期待しております。

議員一同、小千谷市のさらなる発展を目指し、市民に寄り添った議会活動を推進してまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## Topics #2

### 議会報告会および意見交換会を開催しました

#### ★議会報告会および意見交換会★

11月上旬、小千谷商工会議所女性会様と JA 越後おぢや女性部様にご協力いただき、議員も2グループに分かれ、議会報告会及び意見交換会を開催致しました。議会報告会では令和4年度決算報告と委員会活動について話し、意見交換会では「女性から見た少子化対策」をテーマにフリートーク形式で意見交換を行いました。両団体様から、多様なご意見をお聞かせいただきました。ご協力ありがとうございました。



#### ★意見交換会で頂いたご意見をご紹介します★

- ・働く女性のための子育て環境整備
- ・教育費負担軽減と給食費の無償化
- ・不妊治療補助の必要性和周知度向上
- ・子育て支援、介護支援の必要性
- ・図書館等複合施設への期待と利活用方法
- ・奨学金の給付方法の変更と

市内就業者に対してのインセンティブ  
など



★小千谷商工会議所女性会のみなさん★



★JA 越後おぢや女性部のみなさん★

## 第2回臨時会 議決結果

(11月29日開催)

議案番号等	議 件 名	議決状況	議決結果
条 例	議案第89号	小千谷市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	賛成多数 原案可決
	議案第90号	小千谷市長、副市長及び教育長の給与額並びにその支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	〃 〃
	議案第91号	小千谷市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	全会一致 〃
	議案第92号	小千谷市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定	〃 〃
その他	議案第88号	専決処分(令和5年度小千谷市一般会計補正予算(第4号))	〃 承認

## 第4回定例会 議決結果

(12月4日から12月25日まで開催)

議案番号等	議 件 名	議決状況	議決結果
条 例	議案第93号	小千谷市手数料条例の一部を改正する条例の制定	全会一致 原案可決
	議案第94号	小千谷市体育館条例の一部を改正する条例の制定	〃 〃
	議案第95号	小千谷市火災予防条例の一部を改正する条例の制定	〃 〃
	議案第109号	小千谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	〃 〃
予 算	議案第96号	令和5年度小千谷市一般会計補正予算(第5号)	〃 〃
	議案第97号	令和5年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	〃 〃
	議案第98号	令和5年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第2号)	〃 〃
	議案第99号	令和5年度小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	〃 〃
	議案第100号	令和5年度小千谷市ガス事業会計補正予算(第1号)	〃 〃
	議案第101号	令和5年度小千谷市水道事業会計補正予算(第1号)	〃 〃
	議案第102号	令和5年度小千谷市工業用水道事業会計補正予算(第1号)	〃 〃
	議案第103号	令和5年度小千谷市下水道事業会計補正予算(第2号)	〃 〃
その他	議案第110号	令和5年度小千谷市一般会計補正予算(第6号)	〃 〃
	議案第104号	契約の締結(変更)(図書館等複合施設新築(建築主体)工事)	〃 〃
	議案第105号	契約の締結(変更)(小千谷中学校管理・普通教室棟長寿命化改良(建築主体)工事)	〃 〃
	議案第106号	小千谷市の公の施設(片貝総合センター)の指定管理者の指定	〃 〃
議案第107号	小千谷市の公の施設(養護老人ホーム)の指定管理者の指定	〃 〃	〃 〃
	議案第108号	新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び新潟県市町村総合事務組合規約の変更	
選 挙	議会選第6号	小千谷市選挙管理委員及び同補充員の選挙 [選挙管理委員:勝又武氏、小野塚朋子氏、田中隆治氏、風間文子氏] [選挙管理委員補充員:新保賢氏、丸山君子氏、金子克之氏、関みどり氏]	当 選
発 議	発議案第7号	緊急事態条項に関する国会審議を求める意見書	賛成多数 原案可決
	発議案第8号	今夏の猛暑、水不足による農業被害に対する支援を求める意見書	全会一致 〃
請 願	請願第4号	若者も安心できるような物価上昇に見合う高齢基礎年金等の改善を求める請願	賛成少数 不採択
	請願第5号	健康保険証の存続を求める請願	〃 〃

## 議員賛否の状況 (採決において賛否が分かれたもの)

議案番号等	議決結果	賛成	反対	廣井良宣	佐藤勝義	和田忠篤	佐藤瑞穂	高木健太	平澤智	阿部守男	内山博志	上村行雄	住安康一	駒井和彦	森本恵理子	佐藤隆一	久保田陽一	長谷川有理	田中淳
議案第89号	原案可決	13	2	○	○	○	○	○	○	×	○	一	○	○	○	○	○	×	○
議案第90号	原案可決	13	2	○	○	○	○	○	○	×	○	一	○	○	○	○	○	×	○
発議案第7号	原案可決	10	5	○	○	×	○	×	○	○	×	一	○	○	○	×	○	×	○
請願第4号	不採択	4	11	×	×	×	×	×	×	×	○	一	×	○	×	○	×	○	×
請願第5号	不採択	5	10	×	×	×	×	×	×	○	○	一	×	○	×	○	×	○	×

※ ○は賛成、×は反対、議長(上村行雄)は採決に加わりません。

## 常任委員会報告

### 総務文教委員会・民生産業委員会

議案第96号令和5年度小千谷市一般会計補正予算(第5号)は連合審査会を開催し審査いたしました。

情報化推進事業、価格高騰緊急支援給付金等質疑がありました。請願第5号健康保険証の存続を求める請願について、マイナンバーカード保険証の位置付け、資格確認書発行等の質疑があり、討論として医療のデジタル化には必要と反対。現行の健康保険証を存続させてもDX化は可能として賛成。医療機関、介護保険機関の混乱防止の賛成。

議案第98号令和5年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第2号)被保険者管理システム改修委託料の補正内容の質疑がありました。議案第107号小千谷市の公の施設(養護老人ホーム)指定管理者の指定について事業評価基準、施設の維持管理の市との分担基準、人員確保と処遇改善について質疑がありました。請願第4号について、討論として若者の意見も書かれていないので反対。若者にさらに負担を頼るので反対。現行の年金制度の再設計を前提に賛成。

長谷川 有理 議員



体育館冷房設置やトイレ洋式化を

質問 当市の整備状況の向上を。

教育長答弁 公立保育園遊戯室・

学校体育館の冷房設置はゼロ。ト

イレの洋式化は保育園100%。

小中学校・総合支援学校は64%。

質問 燕市など移動式エアコンを

レンタルではなく導入している。

保育園の遊戯室エアコンや総合支

援学校のトイレの洋式化は特に前

に進めなければいけないことでは。

教育長答弁 検討していきたい。

「ホントカ。」の設備について

質問 早朝・夜間にも利用できる

公衆トイレの設置を図るべき。

答弁 本町アーケードに隣接する

箇所に設置する。

質問 読書バリアフリー法に基づ

く拡大鏡等設備サービスの充実を。

答弁 利用が想定される方や関係

団体との意見交換を踏まえ導入し

ていきたい。

質問 図書館協議会に障害のある

方を委員に任命するなど当事者の  
方の声に基づくホントカ。充実を。

答弁 検討していきたい。

JR東日本信濃川発電所との共生

質問 共生策のJRの回答の公開を。

答弁 平成22年12月の回答以降、

毎年進捗の説明はもらっている。

公表に向けて検討していきたい。

質問 小千谷駅公衆トイレの開放

を。現在、駅構内トイレ工事中だ

が、当市への連絡はあったのか。

答弁 引き続き外側トイレの開放

を要望したい。現在の駅構内トイ

レ工事は事前に連絡はなかった。

質問 取水の更新もある。更なる

連携や関係づくりを市民目線で。

答弁 連携していきたい。

質問 大地の芸術祭との連携を。

民間レベルの具体的な交流もある。

答弁 担当者レベルの意見交換を

していきたい。

女性支援施策の充実について

質問 重点政策プロジェクト・

チームOJYの男女構成比率は。

答弁 男性7割・女性3割。

質問 女性に選ばれる小千谷にな

るためにはメディアリテラシーの

視点含め女性の割合増や検証を。

答弁 登用を働きかけていきたい。

高木 健太 議員



自治体ブランディングに関して

質問 市場調査と差別化は。

答弁 「認知度調査」および「観

光マーケティング・着地型観光商

品開発業務」の調査を実施。自治

体間競争ではなく、錦鯉産業全体

の振興につながる牽引役として

リーダーシップを発揮していく。

質問 観光戦略のターゲットは。

答弁 中高年層が有効と分析。し

かし、コロナ禍での調査結果であ

るため、観光関連事業や体制の見

直しをする必要がある。

質問 ブランドコンセプト・ブラ

ンドイメージ・訴求方法について。

答弁 現状としてはお示しできる

ものがない。「錦鯉と言えば小千谷」

となるように検討する。小千谷市

全体では、当市の本質的な魅力を

市内外に効果的に発信し、訴求で

きるように取り組む。

質問 進捗の評価指標に関して。

答弁 定期的な認知度調査を実施

する。また、より分かりやすい評  
価指標についても検討する。

エネルギービジョンに関して

質問 現状と計画の進捗は。

答弁 公共施設への太陽光発電、

地中熱冷暖房、雪冷房システムの

導入を進めている。

質問 外部機関との連携や研究は。

答弁 コンサルティング業者等と

連携し調査を実施。今後の技術開

発によって課題解決が期待される

ことから、民間企業や研究機関等

と連携を図り、新たな事業展開の

可能性を模索する。

質問 市内事業所における再エネ

設備導入60%の目標達成は。

答弁 達成は厳しい状況であると

捉えている。補助制度のPRや先行

事例を参考に支援方法を研究する。

質問 当市にとって、本事業はど

れだけ社会的価値があると考えて

いるか。

答弁 地域資源の活用による経済

活性化、防災力向上、環境教育の

充実、地域の魅力向上など、多方

面に及ぶ価値を持つと考える。短

期的なコストの比較だけでなく、

長期的な視野に立ち、課題解決に

向けて取り組んでいく。

## 佐藤 隆一 議員



### 子どもアドボカシーについて

**質問** 令和4年4月改正の児童福祉法施行が目前ですが、ご存知でしょうか。

**答弁** 国の通知により承知しています。既に健康・子育て応援課を設置し児童安全相談員を配置するなどの対応を進めています。

**質問** 福岡県は、子どもアドボカシーの観点から実証事業に取り組んでいますが見解は。

**答弁** 当市においても小千谷みらい議会で、若い世代の市政に対する意見を聞き、大変有意義な機会を得ることが出来ました。

**質問** 全国で不登校児童が29万人を超え、小中高生の自殺者が411人（令和4年度）となり、子ども世代からNOを突き付けられているのではないかと思うのですが。

**答弁** 子どもの利益を優先して考慮することを一層意識しながら、

子ども関連施策に取り組んでいく必要があると考えております。

### 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働について

**質問** 日本の原発は総体として廃炉の時期にあり、原発再稼働に関して、国は廃炉の計画を示すことが前提となるのではないかと考えます。市長の見解をお聞きます。

**答弁** 原発、エネルギー政策は、国策として進められており、国の責任において示されるものと考えております。

**質問** UPZ議員研究会は、柏崎刈羽原発の再稼働について、30キロ圏内自治体の事前了解権が必要ではないかと調査、研究を進めています。市長の見解を伺います。

**答弁** 県知事が立地自治体以外の自治体の意向を取りまとめたうえで、意思表示を行う旨を発言しています。その推移を注視する状況であり、事前了解権を述べる段階ではないと考えます。

**質問** 住民の安心・安全に責任を持つのは自治体です。福島原発事故後の市民の不安を払拭することが必要ではないでしょうか。時間超過につき答弁なし

## 内山 博志 議員



### 農業被害の認識と農業者支援について

**質問** 今夏の猛暑・水不足は災害級だった。市の認識は。大規模農家中心に未来はあるか。兼業農家の役割についてどう考えるか。市の追加支援はあるのか伺う。賃借料の課題についてどう考えるか。

**答弁** コシヒカリの等級低下、園芸の重点作物であるカリフラワー、ニンジンなどに大きな影響をもたらした。今後の営農継続に不安増大につながった。全国的には大規模化は主流、スマート農業機械は、地形的要因、導入費用が高いことから普及には時間がかかる。小規模兼業農家が多くを占めていることから地域農業を守るなど重要、大切な存在である。市独自の追加支援策は考えていないが今後も気候変動リスクが危惧される。先行事例など参考に研究していく。賃借料の議論が深まるよう情報提供

していく。

### 地球温暖化を抑えるために

**質問** 市が力を入れていることは。市のCO2削減目標達成の見通しは。太陽光発電の可能性が一番高いが市民へのアピール、効果はいかがか。住宅エコリフォーム補助は、地球温暖化の視点にも広げ拡充し利用希望者に積極的に応えるべきではないか。以前の太陽光発電の利用者は導入して良かったと回答している。モニター調査を行い、結果を一新し、PRすべき。

**答弁** 公共施設にいくつか設置しているが僅か。補助金利用者の声を参考にPRに努める。住宅エコリフォーム補助は経済、緊急性など総合的に判断する。脱炭素導入設備利用者にR3、4年度アンケート調査を行った。結果を速やかにお知らせする。詳細な発電モニター調査を今後実施する。

**質問** 高齢者の移動を保証するために。デマンドタクシーも検討を。

**答弁** 実証実験の検証、先行事例も参考に市の実情に合った仕組みを研究する。

## 市政の内容を聞く

## 一般

## 質問

久保田 陽一 議員



茶郷川治水対策事業について

**質問** 国の役割、県の役割、市の役割は。そして小千谷市は国や県とどのような連携が必要か。

**答弁** 国は信濃川の管理者として県が策定する河川整備計画や事業化に向けての協議、認可のほか信濃川の堤防を開削することに伴う工事の実施を担い、県は事業主体として、河川整備計画策定や工事全般に関することが主な役割となる。市は河川整備計画策定に向けた関係者の合意形成等を円滑に進めていく役割を担っている。当市と国や県との連携は、河川整備事業が円滑に進捗するためのあらゆることについて連携が必要である。

**質問** 茶郷川治水対策事業の今後の取組みとスケジュールは。

**答弁** 令和6年早々に法定計画である河川整備計画を策定するため流域協議会、地元説明会等を開催し、令和6年度中の計画策定を

目指し、その後諸手続きを経て、令和8年度の事業化を目指す説明を受けている。

市民と市長の対話集会について

**質問** 新年度に市民と対話集会を行うべきでは。

**答弁** 令和6年度は市民との懇談会を開催したいと考えている。

**質問** 新形式での開催が必要では。

**答弁** 市民との懇談会は「市民総参加」のまちづくりを進めていく上で極めて重要な場であると捉えており、次年度以降の方向性としては参加した方々と車座になり、当市の未来について前向きに語り合う場になりたいと考える。

今後の学校運営について

**質問** 今後の学校運営についての協議や話し合いが必要では。

**教育長答弁** 令和11年には小学生1132人、中学生657人まで減少する見通しであることを踏まえ、学校運営のあり方について検討する時期にきていると認識している。

**質問** 不登校特例校を議論すべき。

**教育長答弁** 国・県の動向を注視しつつ、先進校の情報収集に努め、研究していきたいと考えている。

住安 康一 議員



物価高騰支援、経済再生に向けた支援の基本的な考え方や物価高騰支援の具体策について。

**質問** 物の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に沿って、必要な施策を実施する。具体策として住民税非課税世帯のほか、住民税均等割のみ課税世帯も対象に加え、1世帯当たり7万円を給付できるように準備を進める。国の対策において、所得税と個人住民税の定額減税などが明記されており、当市においても着実に進める。

**質問** 明年の中越大震災20年の計画や官民連携のための協議会又は運営委員会の発足、市民総参加の事業展開について。

**答弁** 現時点では、総合防災訓練以外のイベント等については具体的な計画はないが、今後、新潟県や近隣自治体のほか、防災関係機関やそなえ館の関係者などと連携し、必要に応じて協議会や運営委

員会を組織することも視野に入れながら検討を進める。また、市民や市内事業所の皆様から主体的に関わっていただくことを意識する。

**質問** 高齢者の活躍支援のためのガイドブックの製作と、相談先やマッチング機能について。

**答弁** 毎年作成の「小千谷市の各種相談一覧」に活躍支援のための情報を追加することなどを検討したい。また、ワンストップの相談センターの設置及びニーズの把握によるマッチングを行う体制の充実については、高齢者の活躍支援における現状と課題を把握するため、社会福祉協議会、シルバー人材センターなどの関係機関と協議し、対応を研究していく。

**質問** スマートフォンを利用した、救命率向上の取り組みについて。

**答弁** 救急現場のDXが進む中、119番に緊急通報した後に、スマートフォンにより現場の音声や映像の情報を消防指令室と共有する映像通信システム「Live 119」が注目されている。適切な管理・運用等を検証したうえで、導入を検討したい。

## 廣井 良宣 議員



### 産業振興について

**質問** 西部工業団地は2008年度に完成し、11年度に第1分譲地、16年度に第2分譲地が売却された。残る1区画について先が見通せない状況と聞いている。費用対効果などを勘案し、単価を下げてでも早期の売却が賢明ではないか。

**答弁** 単価の引き下げは近隣の地価に影響するため慎重な検討が必要であるが、西部工業団地の販売開始から10年以上が経過しており、未売却については課題であると考えている。今後、一層PRに取り組みとともに、補助金の有効活用や単価の見直しも含めて早期売却に向けた方策を研究していく。

**質問** 県内には新潟県事業承継・引継ぎ支援センターが2015年に開設され、幅広い支援が受けられる。事業承継で働く場が出来ればU・Iターンに繋がり、移住者もゼロからの起業よりリスクが少

なく魅力である。また、当市の空き家が増加する中、住むことが可能な家屋を事業承継・引継ぎ希望者に提供できれば魅力ある取り組みになるのではないか。ウェブサイトを等を通じ事業譲渡の背景や経営者の思いを広く発信してどうか。

**答弁** 商工会議所や新潟県事業承継・引継ぎ支援センター、事業承継マッチングプラットフォームe-layと連携し、「ローカル承継マップ新潟」を運用している。相談を受けた場合は支援センターを紹介するとともに商工会議所等の民間との連携を密にして様々な角度から支援し、ウェブサイト等も検討する。事業承継と空き家対策のセットは興味深い。起業・創業と合わせ、研究したい。

### 東小千谷地区の住居表示について

**質問** 若い世代が馴染みのない、甲・乙・丙などの表記に代わり、地域住民が日頃使用している住居表示にしてはどうか

**答弁** 住居表示の変更は様々な手続きの課題があり、対象区域内住民の意向が重要である。町内会長等の意見を伺うことについて検討したい。

## 和田 忠篤 議員



### Uターン施策と当市の就職採用情報誌「ぼっぷわーく」などの活用について

**質問** 当市にUターンする学生の人数などの把握について伺う。

**答弁** 人口減少対策を進めるうえで、実態を把握することが重要であるため、令和2年度以降、市内の企業からアンケート調査に協力いただき、傾向の把握に努めている。令和3年度から令和5年度までの推移は、高校卒業後が27人、23人、32人。大学、専門学校等の卒業後が16人、12人、33人でした。

**質問** 当市にUターンする学生を増やすための施策を伺う。

**答弁** 今後の施策については、現時点では具体的に申し上げられるものはないが、重点政策プロジェクト・チームの検討状況も踏まえ、スピード感を持って実施したい。

**質問** おぢやはたらく応援プロジェクト「ぼっぷわーく」の入手について伺う。

**答弁** 「ぼっぷわーく」の冊子については、現在、商工振興課及びテレワークステーションおぢやに備えてあるが、今後、より多くの方からご覧いただけるよう、新たな設置場所について検討したい。

### 小千谷奨学会の奨学金、日本学生支援機構の奨学金を企業が返済する「企業の奨学金返還支援（代理返還）」制度の利用について

**質問** 小千谷奨学会奨学生の選考、返還免除について伺う。

**教育長答弁** 当市内2つの高校への奨学金募集要項の掲示なども含め、よりよい周知方法を検討する。返還免除については、当市の実情に即した仕組みについて、研究を行っている。

**質問** 企業の奨学金返還支援（代理返還）への対応について伺う。

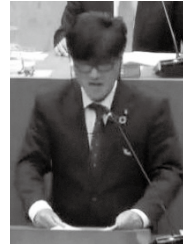
**答弁** 採用活動におけるPRポイントになる可能性があるため、市内企業に情報提供することについて、検討したい。また、本制度に取り組み企業を「ぼっぷわーく」を活用して紹介することについては、人材確保につながるより効果的なPR方法を検討する。

## 市政の内容を聞く

## 一般

## 質問

駒井 和彦 議員



クマ対策について

【質問】 目撃者からの通報後の対応について。

【答弁】 近隣の町内会長への近隣住民への周知依頼、警察署と共にパトロールと広報活動、人身被害発生が懸念される場合、周辺住民の安全確保、クマの追い払いや捕獲、緊急告知ラジオ、緊急一斉メールで市民への情報伝達を迅速に行う。駆除については原則、捕獲移動放獣、適正でない場合は、関係法令に従って駆除出来るとされている。

柏崎刈羽原発再稼働に伴う諸課題について

【質問】 知事から再稼働についての意見を求められた時、どの様に答えるのか。

【答弁】 意見を伝える前に、実効性のある避難計画の策定と検証を優先すべき段階であると考ええる。

山本山の整備と当市の観光について

【質問】 小千谷市プロジェクトアドバイザーに就任した、和田徹氏に期待する事は何か。クラフトビル製造に係る当市の関わり方、今後の新たな具体的戦略について。

【答弁】 和田氏のノウハウや知見を活かし、当市が進める重点政策を始めとする政策事項や市政運営上の課題の対応を革新的に前進させるための助言、指導を期待する。クラフトビルは民間事業者の取り組みだが、官民連携によるまちづくりのキラーコンテンツとしての可能性について研究する。今後山本山整備の具体的プランとして、お花畑など四季の楽しみ方を融合させた、圧倒的な景観づくりを市民と取り組む方法を検討する。

小千谷みらい議会の講評について

【質問】 ハツとした質問等について。

【答弁】 中学生の皆さんも当市の現状について厳しい見方をしていく。だからこそ悲観せず、今後も未来の小千谷に向け、挑戦し続けようと、改めて認識を強く持つた。

阿部 守男 議員



令和5年度猛暑干ばつに對する支援について

【質問】 農業は基幹産業と考えるか。

【答弁】 農業は当市の基幹産業であると認識している。JAの資料として令和4年農業生産額約18億6千万のうち15億5千万を占めている。水稲が当市の農業基盤を支えていると考える。

【質問】 支援金額の算定基準。

【答弁】 JAの過去8年間の平均収入額と、令和5年度の収入見込み額の差額約2万9千円に対し、減収補填されない割合を40%と仮定して算出。減収見込み額を1万2千円とし、新潟県農林水産業総合振興事業の補助率3分の1を参考。追加支援については他自治体の先行事例なども参考にし研究。

【質問】 中山間地の農家、農業は国土保全の為に国や県にも働きかけるべきではないか。

【答弁】 国に対して支援を求めることは考えていない。

【質問】 利子補給について条件は。

【答弁】 利子補給の対象者は、今夏の高温被害等により農業収入が減少した農業者としており、条件はない。

人・農地プランの進捗について

【答弁】 令和5年度4月1日施行の農業経営基盤強化促進法等の改正により地域の話し合いを実施、真人里地区を先行事例とし、年明けから他地区においても話し合いを開始する。

【質問】 JAの合併後における協議は。

【答弁】 JA越後おぢやとの間で地域計画に関する協議も行っており合併後も引き続き役割を担うことを確認。

茶郷川治水と田んぼダム

【質問】 田んぼダムの管理状況、期待される効果は。

【答弁】 農業者、地区の農業組織により堰板の管理が行われている。北陸農政局によると茶郷川流域において、平成23年度の新潟・福島豪雨で試算した場合、茶郷川と信濃川の合流地点で18cmの低減効果がみこまれ、洪水被害の低減に繋がると認識している。



## 平澤 智 議員



### 重点政策プロジェクト・チームY 中心市街地活性化政策について

**質問** 対象地域と地域住民や団体との連携体制について。

**答弁** 対象地域は来年9月にオープン予定の図書館等複合施設「ホントカ。」(以下「ホントカ。」)に關わる都市再生整備計画に含まれる本町を中心としたエリアに小千谷駅までの国道291号線沿線地域を加えたエリアで、市民総参加のまちづくりを実現するため対象地域の団体と意見交換を進めている。

**質問** 学生等に向けた西小千谷地区の展開について。

**答弁** 学生等の居場所や学習スペースの確保について「ホントカ。」以外にも今後公共施設の一部を開放する等の方策を検討している。

**質問** 中心市街地に向けての交通手段や駐車場確保等の具体的な展開について。

**答弁** 駐車場整備は今後地域の回

遊性を高めるうえで重要性が増すものと考えている。商店街の皆様と駐車場や駐輪場の確保について検討を進めるとともにレンタサイクル等の活用を検討する。

**質問** 「ホントカ。」以外での地区の魅力の創出について、具体的な計画、検討はあるか。

**答弁** 「ホントカ。」以外でも公共施設の活用を検討しイベントの開催を商店街や市民の皆様からも参画いただき検討する。

**質問** 図書館等複合施設「ホントカ。」の施設情報発信について。

**答弁** 「ホントカ。」の整備や運営の検討にあたってはこれまでプロポーザル審査の公開や「at!おぢや」の開催などを通じ市民の皆様とともに考えることを基本として進めてきた。しかし、市民の皆様から十分に理解いただいている状況にないとのこと意見をいただいている。今後の情報発信については「ホントカ。」のPRポスターの掲示やカウントダウンボードの設置などによりオープンまでのワクワク感の醸成に努める。幅広い年代の方々にも魅力を感じていただけるよう情報発信に努める。

## 森本 恵理子 議員



### 厚生連小千谷総合病院産科維持のための分娩数増加施策について

**質問** 産科の維持には安定した医療人材の供給体制、分娩数の確保が必要となつてきます。人口減少が進み、いづれはなくなつてしま

うかもしれないがその時期はなるべく遅いほうがいいと考えます。小千谷病院で出産することを条件とした宿泊費支援や安心して出産に臨むための陣痛タクシーの提供支援について見解を伺います。

**答弁** 病院と情報共有しながら、効果的な施策を検討していきます。

**質問** 産後ケアを利用しやすくするために更なる補助や利用のハードルを下げるためのPRが必要では

望される方にとつて利用しやすしい環境づくりに努めてまいります。

### 増加する不登校児童・生徒の支援について

**質問** 不登校の児童・生徒が国、

県においても最多となりました。市内においても夏休み明けに増加傾向にあると聞いています。登校しやすい環境を作るために欠席の理由を問わず朝活動等オンラインで学校とつながることが大事では

**教育長答弁** 学校や生徒によって対応に差はありますが、今後更に進められるようにしてまいります。

**質問** 家から離れた学校という場

にこどもが心から信頼することができ、また安心できる存在がいることが重要なのでは、と考えます。一人一人の不登校の原因にしっかりと向き合い、寄り添った支援をしていくためにも更なる人員強化が必要では。

**教育長答弁** 今後、一層不登校支援の充実に取り組んでまいります。

**質問** こどもが不登校になると仕事を休まざるをえない保護者の方が増えます。更にフリースクールは経済的負担も大きいため、公的な場である「学びの多様な学校」の設置が急がれるのではと考えますが見解を伺います。

**教育長答弁** フリースクールの経済的支援も含め、小千谷でできることを研究・検討してまいります。

## 市政の内容を聞く

## 一般

## 質問

## 議会運営委員会

令和5年11月1日～2日  
議会モニター制度について

福井県越前市

市民の意見を広く聴取し、議会活動及び委員会活動に反映させることを目的に、議会モニター制度を導入し、様々な意見を伺い、改善に繋げている。幅広い年代からの意見聴取をするために、もつと若い方を委員にできないかとの課題に、その対策として対面会議だけではなく、オンライン等を活用した会議の検討も必要だと感じた。

### 議会報告会について

福井県敦賀市

議会報告会の開始から、現在までの11年間の歩みと、成功に向けての改革を学んだ。報告内容の選定やテーマを絞った意見交換会、出た意見の対応のやり方は大いに参考になった。



## 総務文教委員会

令和5年10月11日～13日  
空家対策について

愛媛県伊予市

空家の増加は防災・安全・環境・景観等の面から地域に多大な影響をもたらしており、全国共通の問題であると言える。取組みを研修することにより当市の現状の評価と今後の対応を検討する。

### 書かない窓口について

愛媛県大洲市

窓口業務の職員および来庁者の負担軽減の観点から全国的に進められている書かない窓口についてシステムの導入実績と現状について研修した。

### クリーンセンターバリクリーン

愛媛県今治市

合併により4か所あったゴミ焼却施設を1か所に集約するにあたり、単なるごみ処理施設ではなく地元住民が集まれる集会施設であったり災害時には避難所としての機能も有する施設として計画され、エネルギーの有効利用も考慮し、その独自性、将来性等を研修した。

## 民生産業委員会

令和5年10月17日～19日  
企業支援の取り組みについて

愛媛県東温市

人口約3・3万人と同規模だが、中小零細企業振興基本条例に始まり、産学官金の円卓会議や行動指針の整備など、行政が本腰。

### 移住定住の取り組みについて

愛媛県西条市

メディア戦略に長け、住みたい田舎ランキングで若者に人気。お試し移住用住宅、移住コンシェルジュなど切れ目ない支援が充実。

### サテライトオフィス誘致について

徳島県海部郡美波町

「にぎやかな過疎」を掲げ、官民が連携してオフィス誘致やワーケーション、空き家リノベーションを推進。10年間で28社を誘致。

## 市議会を傍聴してみませんか

### 第1回定例会開催予定

2月26日(月)  
第1日 議案上程説明  
2月27日(火)～3月6日(水)  
各常任委員会で審査  
3月18日(月)  
第2日 一般質問  
3月19日(火)  
予備日 一般質問  
(質問者が多い場合に開催)  
3月21日(木)  
最終日 委員長報告、採決

## 編集後記

編集後記に先立ち、令和6年能登半島地震により亡くなられた方々に心から哀悼の意を表しますとともに、御遺族と被災された方々にお見舞いを申し上げます。また、復旧に尽力されている方々の安全と一日も早い被災地の復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、今年には市制施行70周年となるとともに、中越大震災から20年が経ちます。今後も地域社会の安全と発展を確保するために、市民一丸となり、協力していく必要があります。

私たちは、これまで以上に小千谷市の発展に尽力し、震災の教訓を忘れずに、より強い地域社会の実現に向けて精進する所存であります。

本年もよろしくお願いたします。

編集委員 高木健太